スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業

20年度予算額(案) 1,537,921千円(新規)

- 問題行動等の背景には、児童生徒が置かれた様々な環境の問題が複雑に絡み合っている。 そのため、
 - ① 関係機関等と連携・調整するコーディネート
 - ② 児童生徒が置かれた環境の問題(家庭、友人関係等)に働き掛けること 等が求められている。

都道府県•市町村教育委員会

学校





関係機関

児童相談所 福祉事務所 保健•医療機関 適応指導教室 警察 家庭裁判所 保護観察所 等

【校内体制づくり】

- ・校内チーム体制の構築
- · 教職員のサポート
- 教職員等への研修 など

スクールソーシャルワーカー (SSW)

教育と福祉の両面に関して、専門的な 知識・技術を有するとともに、過去に教 育や福祉の分野において、活動経験の 実績等がある者

【関係機関との連携】

- ・ネットワークの構築
- ・関係機関との調整
- 情報・行動連携 など

児童生徒が置かれた様々な 環境の問題への働き掛け



運営協議会

家庭



地域



児童生徒



不登校

いじめ

暴力行為

児童虐待

【成果·報告等】

【課題・提案等】

- •教育委員会生徒指導担当指導主事
- •SSW
- ·SSW配置校校長

- •大学等研究機関(大学教授等)
- •関係機関担当者
- •PTA 等

